

姫路市医療介護連携会議

姫路市医療介護連携会議は、姫路市（行政）を中心に、本会をはじめ関係団体が参加して平成 26 年度に発足しました。医療・介護・福祉のさまざまな課題解決に向けた取組みを行います。

【参加団体】姫路市、姫路市医師会、姫路市地域包括支援センター連絡会、姫路市地域自立支援協議会、姫路市歯科医師会、姫路薬剤師会、兵庫県看護協会西播支部、姫路市地域連携室協議会、姫路市病院栄養士研究会、兵庫県理学療法士会中播磨ブロック、兵庫県作業療法士会中播磨ブロック、兵庫県言語聴覚士会中播磨ブロック、姫路市社会福祉協議会、姫路市介護サービス第三者評価機構、姫路市・西播介護サービス事業者連絡協議会、中播磨訪問看護ステーション連絡会、兵庫県介護支援専門員協会姫路支部、兵庫県介護老人保健施設協会西播支部、姫路市老人福祉施設連盟、姫路市小規模多機能型居宅介護事業所連絡会、グループホーム連絡協議会

平成 26 年 5 月 15 日

姫路市をはじめ、関係する計 21 団体が集まり姫路市医療介護連携会議の第一回会議が開催されました。

市民が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、それぞれの取組みを繋げ、姫路市の特性に応じた地域包括ケアシステムを構築する、という目的を共有しました。



平成 26 年度

各団体の協力のもと、4 部会

- ・ 病病・病診連携部会
- ・ 在宅医療・介護連携部会
- ・ 介護サービス事業者間連携部会
- ・ 介護予防・生活支援・住まい部会

を組織し、

『医療介護連携手帳の作成に向けた検討』

『各団体が抱える連携上の課題の共有』

を中心に取組みました。



さまざまな職種が集まり、現場の意見を出しあいました。

「医療介護連携手帳」の取組みは京都府の乙訓医師会の取組みを参考にしています。高齢者が日々の体調や暮らしぶりを記入し、生活の状態を自己管理するため、また、医療・介護に関する情報をかかりつけ医やケアマネジャーなど関係者が共有し、適時適切な支援に活用することを目指しています。

H27 年 3 月の第 2 回会議で様式を決定、名称も「れんけい手帳」として試験運用を開始することになりました。

